

平成23年分 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書

この申告書は、あなたの給与について配偶者控除や扶養控除、障害者控除などの控除を受けるために提出するものです。
この申告書は、控除対象配偶者や扶養親族に該当する人はいない人も提出する必要があります。
この申告書は、また明細上から給与の支払を受けている場合には、そのうちの1か所にしか提出することができません。



所轄税務署長等 柏野田	給与の支払者の名称(氏名) 〇〇〇〇株式会社	(フリガナ) あなたの氏名 ノダ イチロウ (野田 一郎)	給与主の氏名 野田 一郎	記号 あなたの住所 野田 本人
給与の支払者の所在地(住所) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	あなたの住所 野田市鶴奉7-1	あなたの生年月日 36 年 12 月 1 日	あなたの性別 男	

あなたに控除対象配偶者や扶養親族がなく、かつ、あなた自身が障害者、高齢、高次又は勤労学生いずれにも該当しない場合には、以下の金額に記入する必要があります。

区分	氏名	あなたの氏名	生年月日	住所又は居所	平成23年中の所得の見込額	異動月及び事由
A 配偶者控除	野田 花子	子	39・8・10	野田市鶴奉7-1	30 円	
B 扶養親族等	1 野田 太郎	子	3・2・15	同上	0	
C 障害者、高齢、高次又は勤労学生	1 障害者	本人		左記の内容(この欄の記載に当たっては、高額の「」記号に「」を付けてください。)		
D 給与所得者が扶養親族等	氏名	あなたの氏名	生年月日	住所又は居所	異動月及び事由	

- ◎ この申告書及び裏面の「申告についてのご案内」等は、平成23年9月1日現在の関係法令等に基づいて作成してあります。
- ◎ 「生たる給与」とは、この申告書に提出した給与の支払者から受ける給与をいいます。「従たる給与」とは、それ以外の給与の支払者から受ける給与をいいます。
- ◎ 控除対象配偶者が老人扶養親族に該当する場合には「老人扶養親族」欄に○印を付けてください。
- ◎ 控除対象扶養親族が老人扶養親族に該当する場合には、その老人扶養親族が障害者等に該当するときは「障害者等」の文字を、同様に老人扶養親族であるときは「その他」の文字を○で囲んでください。また、控除対象扶養親族が特定扶養親族に該当する場合には、「特定扶養親族」欄に○印を付けてください。

◎住民税に関する事項

(住民税に 関する事項) 16歳未満の 扶養親族 (平成23年度)	氏名	あなたの氏名	生年月日	住所又は居所	平成23年中の 所得の見込額	異動月及び事由
1 野田 次郎	子		8・11・20	野田市鶴奉7-1	0	

◎「16歳未満の扶養親族」欄は、第45条の3の2第1項及び第2項並びに第37条の3の2第1項及び第2項に基づき、給与の支払者を経由して市区町村長に提出しなければならないとされている給与所得者の扶養親族申告書の提出義務があります。

↑
住民税に関する事項：16歳未満の扶養親族を記載

24

給与支払報告書(個人別明細書)

支払を受ける者 住所 野田市鶴奉7-1	氏名 (受給者番号) 0123456 (フリガナ) ノダ イチロウ (役職名) 野田 一郎			
種別	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額
給料・賞与	6 570 000	4 714 400	2 464 410	0
控除対象配偶者の有無等	配偶者特別控除の額	控除対象扶養親族の数(配偶者を除く)	障害者の数(本人を除く)	社会保険料等の金額
○	1	1	0	945,860
(摘要) 借入金等特別控除可能額	150,000	国民年金保険料等の金額	176,460	配偶者の合計所得
開始年月日 H21.3.14	妻 花子 子 太郎	子 次郎 (年少)		89,000
扶養親族数	1			19,600
扶養親族の氏名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇			
扶養親族の生年月日	36 12 1			

年少扶養親族の人数を記入

年少扶養親族の氏名を記入
※氏名の後ろに「(年少)」と記入